

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年4月25日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年4月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【構内仮置物品の仮置期限超過について】 大型機器点検建屋建物改修工事における溜まり水を保管した水タンクについて、仮置期限の超過を確認。 処理方法と受入先が確定次第、当該水タンクを処分予定。	GⅢ	4月18日
2	【構内注油所の注排出パイプ転倒によるパイプ筒先からの潤滑油滴下について】 構内注油所の注排出パイプ転倒による、パイプ筒先から潤滑油の滴下を確認。 現場確認の結果、滴下が止まっていることを確認し、床面滴下の拭き取りを実施。 なお、応急処置としてチェーン固縛による当該パイプ転倒防止処置を実施。 今後、転倒防止の恒久対策を検討する。	GⅢ	4月24日